

令和 5 年度事業計画

1 令和 5 年度事業方針

専門機関や行政に対して「いところち」の認知が進むにつれて、相談や居場所といった拠り所を超えて、具体的な生活支援機能への期待が高まっている。また当法人が前年度に行った全国調査においても、困窮世帯への個別具体的な経済援助の必要性・有効性は明らかであった。しかし SYAA は公益法人としての制約を大きく受けるため、個人や団体に対して経済的な給付を直接行うことが難しい。令和 5 年度は当法人がこの機能を補い、困窮世帯の子ども・若者の教育や医療にかかる費用を直接的かつタイムリーに給付援助していく。

みんなの休憩処「ひとてま」は、援助機能の専門性よりも地域密着の身近さを打ち出すことで「いところち」との機能分担を明確にし、かつ相乗効果を生み出していく。当面は地域ニーズに応じて「学習支援」と「多世代交流」に重点的に取り組む。

こういった機能面の強化に加えて、事業の対象地域についても拡充を図る。これまでは「いところち」「ひとてま」の両拠点に来られることを前提に事業を行っていたため、対象が近隣に住む世帯に限られていた。令和 5 年度は民間助成金の獲得によって事業用の大型車両を導入し、車内で食事や学習が可能な「移動型のリビング」として全市域を訪問する。

また、当法人の最大の課題となっていた事務局機能の確立について、SYAA および関連団体への委託を通じて強化を図る。

2 重点目標

- ・「いところち」と「ひとてま」を拠点に、生活と就労と学習の 3 分野を網羅する
- ・経済給付を軸に、当法人の強みを生かした援助に着手
- ・事業用大型車両を用いた居場所の全市展開
- ・外部委託と人材育成を通じて事務局機能を強化

3 事業実施計画（詳細は別紙）

- ①一般社団法人ソーシャルペダゴジーネットの事務局運営
- ②子ども・若者の居場所「いところち」の協働運営
- ③みんなの休憩処「ひとてま」の協働運営
- ④子育て世帯への生活支援事業